

学校教育での 子供への指導について問う



谷 四男美 議員（住民と自治の会）

教育長 児童・生徒が

人間力を高められる

支援をしていく

質問 先頃、大津市でいじめ問題が発覚し、改めて学校教育が問われている。いじめは、潜在的にどの学校にも又、社会にも存在する。問題なのは大切な子供の命が失われていることである。学校教育で大切なことは一人一人の子供たちを人間としてどう育てていくのか、その為に先生方が力を発揮できる教育環境をつくり出すことである。その為にどう取り組んでいるのか。教育長に答弁を求めます。



芝開きで楽しく遊ぶ子ども達（第五小学校）

教育長 教育委員会は、児童・生徒をいじめの被害者にも被害者にならない事がないように支援をしていく。今後、教員が子供と十分に向き合い、いじめのない教育環境をつくることで、児童・生徒が個々の人間力を高めていけるように支援をしていく。

ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の活用で、防災・観光等の幅広い情報提供と共有を

齋藤 成宏 議員（民主党）

町長 今すぐの導入は考えていない



フェイスブックを活用している自治体

質問 SNSは、昨年の東日本大震災発災時に、多様な国民的ニーズが的確に把握され、官民や地域間を問わず、その有効性が明らかとなった。現行の町ウェブサイトにやメール配信をさらに補完する意味で、代表的なSNSである、フェイスブックやツイッターの活用を提案する。そこで、町長に次の3点を伺う。
問① 防災・減災での展開を。
問② 観光・地域振興での展開を。
問③ 協働型社会の情報共有に最適と考えるが。

町長 9月1日から医療機関での個別接種に転換している。更に周知徹底を図っていく。

上下水道管の老朽化対策は
町長 基礎調査に入っており、施設の更新・耐震化等の計画を予定。

こんな質問もありました
不活化ポリオワクチンへの対応は
町長 9月1日から医療機関での個別接種に転換している。更に周知徹底を図っていく。

さから、流言飛語の発信源となる可能性を秘め、また活用する上での社会的ルールやモラルが追い付いていないとも思える。コミュニケーションの振興は、人の直接的な関わり合いが基本であり、これを補完する道具として活用されるべきである。

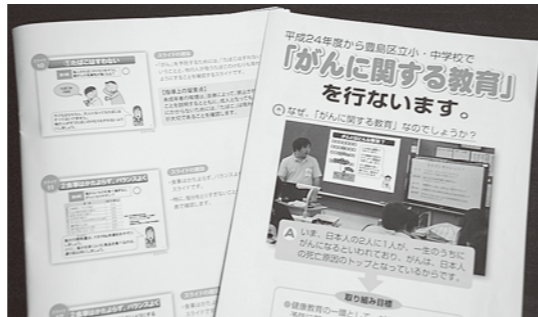
今すぐ導入することは考えていないが、高齢者や障がい者の方々の配慮も含め、新たな通信媒体の活用を検討していく。

（関連質疑により一括答弁）

更なるがん対策と「がん教育」の推進を

下野 義子 議員（公明党）

町長 関連部署が連携し、成果を上げるよう推進



他自治体で取り入れられている「がんに関する教育」

質問 町は、がん対策の取り組みとして、がん検診の公費助成などを実施しているが、受診率は伸び悩んでいる。今年度は無料クーポン事業の拡充などに取り組んでいるが、受診率を上げるために、更なる施策を検討し推進すべきである。それと共に、子ども達に、がんの基礎知識や予防法、検診の大切さを教え、命の大切さと生きる力が学べる「がん教育」を推進すべきである。町長、教育長の所見を伺う。

町長 がん検診に対する受診率向上の取組みとして、24年度は新たに検診日を増やすことで受診機会の拡充を図っている。今後、受診率向上のための工夫と努力を継続したい。

学校教育では、小学校6年生の保健の学習や中学校の保健体育科で、がん予防の大切さを指導している。自らの健康と命の大切さを教え、健康を阻害するリスクについて知ることには大変重要である。今後も関連部署が連携し、成果を上げられるよう推進していく。

こんな質問もありました
プロジェクトアドベンチャープログラム（冒険教育）の取組みを
教育長 学校に紹介し、推進を図っていく。

駅に町民ギャラリーを

小山 典男 議員（自民新国会）



町長 制限のあることを前提として有効活用を考えたい



JR箱根ヶ崎駅のコナコース

質問 町は平成17年3月に駅をリニューアルし、駅構内に町の名産品を展示している。この改札内のコンコースに、町民ギャラリーとして町のPRや情報発信を行い、また、震災時には避難所として、選挙時には期日前投票所とするなどの利用ができる場所の新設を提案するが、町長の考えを伺う。

町長 箱根ヶ崎駅は、JR東日本が管理する駅舎部分と、町が管理する自由通路部分で構成されている。

改札口内側のコンコースに壁で仕切った構造の部屋を設置することは、要望があっても管理上許可は難しいとのことである。

駅舎および東西自由通路は、駅乗降客の規模や立地上の制限がある中で、最大限の面積を確保して建てられており、新たな部屋の設置は困難である。制限のあることを前提として、町の自然の紹介や児童の絵の展示会など、有効活用を考えたい。